



委員会の

総務経済委員会

令和7年11月5日～7日

埼玉県川越市 「小江戸のまちなみを活かしたまちづくり」

秋田県大仙市 「大曲の花火を活かしたまちづくり」

岩手県遠野市 「クラフトビールによる観光まちづくり」



▲はなび伝統文化継承資料館はなび・アムを視察
(大仙市)

川越市では、小江戸のまちなみを観光資源として保存・活用するのみでなく、地元産業との連携や季節イベントによる集客を通じて持続可能な観光まちづくりの取組を学びました。

大仙市では、大曲の花火という地域ブランドを活かした観光・商業・農業・教育等の分野への波及施策、インバウンド需要の獲得に向けた情報の発信方法及び観光教育の推進施策の取組を学びました。

遠野市では、クラフトビールを地域の観光資源とするためのプロジェクトを立ち上げ市民・企業・行政が地域資源を育てる持続可能な観光まちづくりの取組を学びました。

各取組を参考に、市政への提言につなげてまいります。

建設水道危機管理委員会

令和7年11月5日～7日

神奈川県三浦郡葉山町 「ウォーター PPP 事業の実施に向けた取組」

宮城県 「宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）」

栃木県栃木市 「空き家対策」



▲宮城県上工下水一体官民連携運営事業の取組を視察
(宮城県)

葉山町では、民間のノウハウと経営能力を活用し、長期的な視点で水インフラを管理するウォーター PPP について、コンセッション（レベル 4.0）及び管理・更新一体マネジメント（レベル 3.5）という複数のモデルを段階的に導入・検討しており、事業実施に向けた具体的な取組を学びました。

宮城県では、水道・工業用水・流域下水道を一体化して民間のノウハウを長期（20年）・性能発注ベースで活用する全国でも先進的なコンセッションモデルである「みやぎ型管理運営方式」の取組を学びました。

栃木市では、空き家の実態調査及び所有者アンケートの結果に基づき、空き家バンク、解体・リフォーム補助、耐震補助といった多様な支援策を組み合わせた取組を学びました。

各取組を参考に、市政への提言につなげてまいります。